

## 卒業生の奮闘に続こう!

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための蔓延防止等重点措置による登校の制限などが続き、落ち着いた年度末となりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

3月2日は、3年生が晴れて卒業式を迎えました。当日は在校生の皆さんは出席できなかったのですが、感染症対策を講じながら保護者の方をお迎えして、滞りなく式をすませることができました。卒業した3年生のそれぞれの表情は晴れやかで、卒業を果たした安堵感と充実感を伺うことができました。

この1年は、2年前から続く感染症との闘いが続いたものの、持続可能な経済活動に対する機運が高まりました。しかし、新たに流行したオミクロン株がこれまで以上に感染状況を悪化させ、経済社会をさらに混乱させました。2月24日にはロシア軍によるウクライナ侵攻が始まり、1ヶ月経った今も戦闘がやむことはなく、多くの犠牲者が出ているという報道が毎日のようにメディアから流れています。一刻も早く戦闘が終わり、平和な世界が戻ることを願うばかりです。私たちは今、感染症との闘いの最中にいますが、世界にはそれ以上の困難に立ち向かっている人々がいます。平和な日常がいかに尊いものかをあらためて感じた年度末となりました。

さて、前述した3年生は本校を卒業し、4月からは新たなステージでそれぞれの歩みを始めます。部活動や生徒会活動で皆さんを苦難の中でも牽引し、進むべき方向を様々なかたちで示唆してくれました。受験期に奮闘していた3年生の姿も目にすることはあったかと思います。その3年生の皆さんはそれぞれの目標設定を明確にし、昨年の9月以降、おおいに奮闘してくれました。この通信の3～4ページには今春の卒業生と過年度生の合格先一覧を掲載しました。参考にしてください。

1,2年生の皆さん、卒業生の奮闘に続きましょう!! 皆さんは卒業式に立ち会えませんでした、3年生の頑張りやたくましく巣立っていった姿をイメージしてください。3年生が頑張ったように、皆さんもこれから待ち受ける困難にたくましく立ち向かって努力して欲しいと願っています。

### 学習指導担当から

次の登校日は4月の始業式です。それまでの学習生活については各自の計画にもとづいて進めましょう。

- 3月特編期間中のスタディサポートの復習をやる。  
1年生の皆さんは実施できていませんが、事前学習を振りかえりましょう)
- 4月の実力考査への準備  
長期休業になると「時間がある」との錯覚から、なかなか勉強に向き合えない人がいます。自律して取り組みましょう。
- 4月からの授業に備えて、教科書を読む、予習をする。  
授業が始まって、すぐに遅れを取らないように助走をすることが大切です。

### 今年度3年生が受験した模試冊子の残部をお分けします

進路指導室前の廊下に3年生が受験した模試冊子の残部を用意しました。春休み中に試験問題にチャレンジして自分の力量を確認してみませんか。冊子は先着順です。新3年生を優先しますので新2年生はご遠慮ください。なお、教科科目によっては解答解説がないものがあります。その場合は問題をノートにやったあと、教科担当の先生に採点、解説してもらいましょう。



## ■ 四年制大学・短期大学・専門学校等へ進学を目指す人へ

3月にオープンキャンパスを実施する学校がいくつかあります。一昨年はオープンキャンパスが軒並み中止になり、昨年はオンラインでのWebオープンキャンパスが多くの学校で企画されました。対面のオープンキャンパスの方が学校の雰囲気なども分かり良いと思いますが、感染状況等を考慮し、機会をとらえて参加してみてください。詳しくは各校のHPで。

## ■ 民間就職・公務員を目指す人へ

来年度以降も、企業の新規卒者採用は業種によってますます厳しくなると予想されます。公務員試験もさらに難化すると思われます。「転ばぬ先の杖」のために日々、基礎学力の定着のために学習時間を確保し、対策本などに取り組むなど動きをおこしてください。今年度は、早期から対策していた3年生から「長野県警察」1名 「佐久広域連合消防本部」1名の合格者が出ています。

## 年度末にあたり、今一度、「進学」「就職」について考えてみましょう

自分が進むべき方向がハッキリしている人も、一旦立ち止まって自分の進路を再確認する。そういうことを時折意識して自己実現を目指しましょう。



## 「高校卒業後の進路選択と将来の職業」

皆さんは、中学までの義務教育期間を終え、高校受験を経験してきました。高校入試は学校こそ異なりますが、中学の先生のご指導のもと、3年生の生徒がほとんど経験し、高校に入学します。しかし、高校卒業後の進路は「進学」と「就職」に二分され、就職する人はすぐ社会に出ることになります。進学する人は、大学・短大・専門学校などといった違った特色をもった学校への進学が考えられます。高校卒業後の進路選択は多種多様です。特に進学に関しては、最近、全国における高校の卒業生が減少してきている中、全国の上級学校は生き残りをかけ、他にはない特色ある学部や学科を設置してきていますので皆さんは多様な選択肢から学校を選ぶことができるようになりました。進路選択は、皆さん自身が大切な時間をかけて生きる場所を選択することですから、保護者の方や先生などと相談しながら、自分の希望、適性、能力などを念頭におき、自分の将来像を見据えながら考えてみましょう。

## 「大学、短大、専門学校卒業後の就職」

かつては、4年制大学を卒業すれば、ある程度「よい就職」ができた時代でした。しかし、大学進学率が上昇した今日、大学を出ただけでは「自分が納得する就職」をするのが困難になってきています。進学先でいかに幅広い実践力を身につけたかが就職活動の大きなポイントになります。大学では高校時代の学力がしっかり身につけている人は充実した研究、学問の成果を得ることができるでしょう。大学時代に培った実力や資格が就職の時に必ず生きてきます。また、近年、理系で企業の研究所などに就職を希望する場合は、大学院修了が求められる場合が多くなっています。短大の特色の一つは、卒業後の進路選択の幅が専門学校に比べると多彩なことです。短大卒業に際しては、企業などへの就職のほか、資格取得を目指し、学んだことをより深めたい場合は専攻科へ進むことができます。また、研究分野を広げるために4年制大学への編入を目指すことも可能です。一方、専門学校は、学ぶ内容と就職が直結していますので、卒業と同時に就職するのが一般的です。専門学校に進学後、技術を身につけるとともに、資格取得をすることが就職時に重要な要件となってきます。